

教科	国語	科目	古典B	担当	
履修学年	3年	単位数	2	履修区分	普通科
教科書	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)				
副教材等	体系古典文法(数研出版) 精説漢文(いっずな書店)				

1 学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習評価

評価の観点	当該科目の評価の観点の趣旨
a 関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
b 読む能力	古典を読んで感情や思想などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
c 知識・理解	伝統的な言語文化及び言語の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。

※定期考査については、上記b、cの観点について学習内容に応じて適切に配分しています。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元(教材)の評価規準	評価方法									
					a	b	c											
前 期	4	古文	方丈記 「ゆく河の流れ」	古典の文章のリズムに親しむと同時に、中古～中世の日本人の中心的考え方に触れる。	○		○	a) 文章を何度も読み、そのリズムを味わい、暗唱に取り組んでいる。 c) 単語や文法事項をもとに、当時の中心思想のひとつである「無常観」を理解している。	・暗唱テスト ・授業態度 ・定期考査									
										5	古文	枕草子 「中納言参り給ひて」	・日記文学を読み、作者の境遇や心情について読み取る。	○	○	○	a) 当時の貴族の生活や時代背景、歴史的な事項についての理解を深めようとしている。 b) 当時の貴族の生活を理解し、宮中の人間の交流の様子を読み取ろうとしている。 c) 単語や文法事項をもとに内容を理解し、日記文学の面白さに気付いている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査
	<b>前期中間考査</b>																	
	前 期	6	古文	更級日記 「門出」	・日記文学を読み、作者の境遇や心情について読み取る。	○	○	○	a) 当時の貴族の生活を理解し、京や物語にあこがれる心情を読み取ろうとしている。 b) 当時の貴族の生活を理解し、京や物語にあこがれる心情を理解しようとしている。 c) 単語や文法事項をもとに内容を理解し、日記文学の面白さに気付いている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査								
											9	漢文	桃花源記	・漢文で書かれた小説を読み、表現に注意しながら描かれている情景や登場人物の心情を読み取る。	○	○	○	a) 自分で書き下し文、口語訳ができる。 b) 持ち入れられている句法を正確に理解している。
<b>前期末考査</b>																		
後 期	9	古文	大鏡 「花山天皇の出家」	歴史物語の特徴や語られている内容について理解する。	○	○	○	a) 歴史物語の特徴を理解しながら、当時の慣習や人々の考え方、登場人物の心情を読み取ろうとしている。 b) 歴史物語の特徴を理解しながら、当時の慣習や人々の考え方、登場人物の心情を読み取っている。 c) 単語や文法事項についての知識を深めながら、歴史物語の面白さに気づいている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査									
										11	古文	源氏物語 「光源氏の誕生」	「源氏物語」の世界に親しみ、登場人物の心情の推移を読み取る。	○	○	○	a) 「源氏物語」の世界を味わいながら、当時の慣習や人々の考え方、登場人物の心情を読み取ろうとしている。 b) 「源氏物語」の世界を味わいながら、当時の慣習や人々の考え方、登場人物の心情を読み取っている。 c) 単語や文法事項についての知識を深めながら、歴史物語の面白さに気づいている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査
	<b>後期中間考査</b>																	
後 期	11	古文・漢文	問題演習	・実践的な演習問題に取り組む。	○	○	○	a) 実践的な演習問題に積極的に取り組むことで、テーマに沿った内容を理解し、読解力を深めようとしている。 b) 実践的な演習問題に取り組むことで、テーマに沿った内容を理解し、読解力を深めている。 c) 今までに身に付けた知識をもとに、応用力を身に付けている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査									

#### 4 考査の観点別配点

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	30	30	30	
b	30	30	30	
c	40	40	40	
計	100	100	100	0

#### 5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ①重要語句、重要句形、助動詞、敬語などを定着させるために自ら予習をして臨む。不明な箇所は単語帳、文法書、必携を活用して理解に努めること。
- ②課題、問題演習に丁寧に時間をかけて、よく考えて取り組むこと。
- ③提出物の期限を厳守すること。